

政策会議分科会(第5回)議事要旨

1. 日時：平成22年4月2日(金)8時～9時
2. 場所：衆議院第一議員会館第一会議室
3. 国交省出席者：増田総政局長、中島国計局長ほか
4. 議題：平成22年度予算執行と所管事項説明(総政局、国計局)
5. 議事要旨
 - (1) 挨拶
 - (2) 議事要旨
 - ・ 配付資料に沿って説明
 - ・ 質疑応答
 - (3) 出席議員からの主な意見
 - ・ 当面の課題とスケジュールを一覧にして各局から出してほしい。関心ある項目をレク要求できる。
 - ・ 現社会資本整備重点計画は旧政権下で決めたこと。現政権でどのような見直しを行っているのか。
 - ・ 地域振興について、大都市圏は脚光を浴びているが地域政策の観点で政府全体で乏しい。農地や観光などそれぞれのパーツはあれど地域政策の総合化が足りない。国土計画などの観点から国交省が引っ張っていくことを期待。
 - ・ 公共事業のあり方について、政務三役主導で仮配分や事業評価をやっているがパーツがバラバラで、例えば異なるモード間の評価手法も統合されていない。ハツ場ダムも途中説明が不足。住民参加、対外的に事業の正当性を確定させる手続として公共事業基本法の制定を検討すべき。
 - ・ 分科会には事務方だけでなく政務三役も出席すべき。政策判断を議論できる。
 - ・ 現国土形成計画は前政権下で決めたもの。現政権下でどのような見直しを行っているのか。
 - ・ 我が国は経済問題、国際問題で立ち後れている。
 - ・ 国内だけをみればコンクリート(公共事業)は峠を越えたがアジアではまだまだ建設事業が必要。韓国は国家戦略的にものを考えており、ものすごい勢いで伸びている。
 - ・ ステレオタイプな政策では今の時代に対応できなくなっている。説明のあったメガリージョンや広域地域戦略のような、単位として実効的なブロックに落とし直して、議論する必要がある。萎縮することなく知恵を出していただき我々とも議論してほしい。
 - (4) 出席議員からの発言を受けての国土交通省の回答
 - ・ 重点計画の見直しについては政務三役会議で議論されると思うが、公共

投資のフレームが変わった状況を踏まえ基礎的な整理を行っているところ。

- ・ 国土形成計画については、前原大臣と議論している中では計画自体を見直すとの話にはなっていない。当面計画はおいておく一方で、成長戦略の中で、大都市圏の戦略や地域振興政策のあり方について、新しい政策ツールを考えていくのではないかと受け止めている。
- ・ 当面の課題とスケジュールについて、本日の議題として政務三役から指示されているのは予算と所管事項説明。当面の課題とスケジュールについては政務三役会議を経ないと事務方では説明が難しい面もある。
- ・ 今後の資料作りにも影響するので一度持ち帰り、政務三役出席要望と併せて官房に相談する。

(以 上)